

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年 7月 31日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県加古郡播磨町古宮877番地

氏名 大和紡績株式会社 播磨工場

工場長 濱崎 修

電話番号 078-942-1521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和紡績株式会社 播磨工場
事業場の所在地	兵庫県加古郡播磨町古宮877
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1112 化学繊維製造業
②事業の規模	製造品出荷額 425,262万円(令和元年度実績)
③従業員数	191人(令和2年度1月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全種類	
	排出量	1,366 t	t
	(これまでに実施した取組) 2019年度全排出量 目標3,678t→実績1,366t 計画比▲63%削減 主な取組み ・廃酸を濃縮固化して汚泥とし大幅に減量 目標2816t→実績746 t ・生産効率の改善による繊維屑（廃プラ）発生量減少 目標847t→実績553t		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・破砕機の導入による繊維屑（廃プラ）の有価リサイクルの検討 ・生産効率の改善の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産廃パトロールの継続及び全従業員への教育、PR ・収容箱の大型化および産廃置き場見直し検討
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産廃パトロールの継続及び全従業員への教育、PR ・収容箱の大型化および産廃置き場見直し検討の継続 ・産廃分別の徹底による有価物化の推進

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・繊維屑のリペレット化の検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・繊維屑破砕機導入による形状の変更 ・繊維屑のリペレット化の検討継続		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 廃酸を濃縮して汚泥に変更する事によるコスト削減 新規処理業者の開拓		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 新規処理業者開拓の継続		

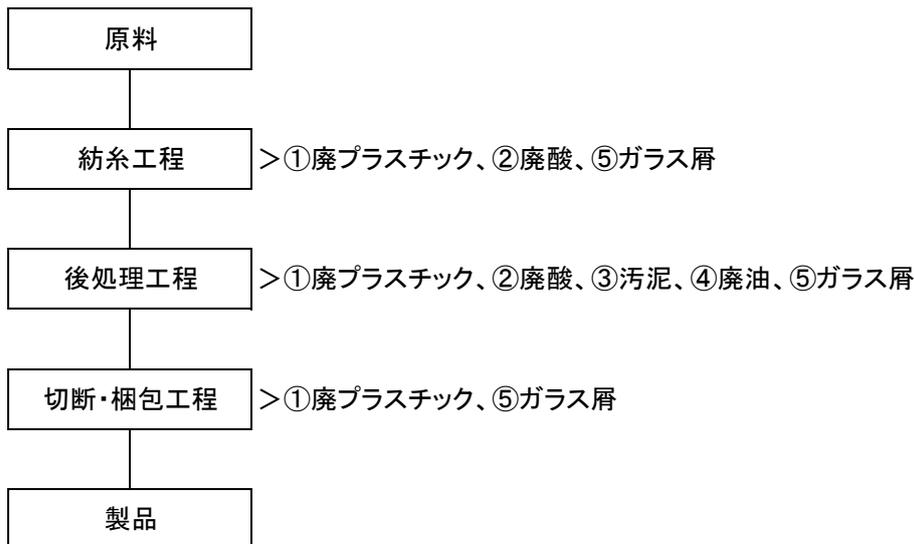
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

○産業廃棄物の一連の処理の工程



①廃プラスチック

収集運搬<委託:イボキン>圧縮、切断、粉碎<委託:イボキン<西播環境整備

②廃酸

収集運搬<委託:ダイセキ>中和<委託:ダイセキ<セメント原料:大阪住友セメント

③汚泥

収集運搬<委託:新日本開発>焼却<委託:新日本開発<セメント原料:大阪住友セメント

④廃油

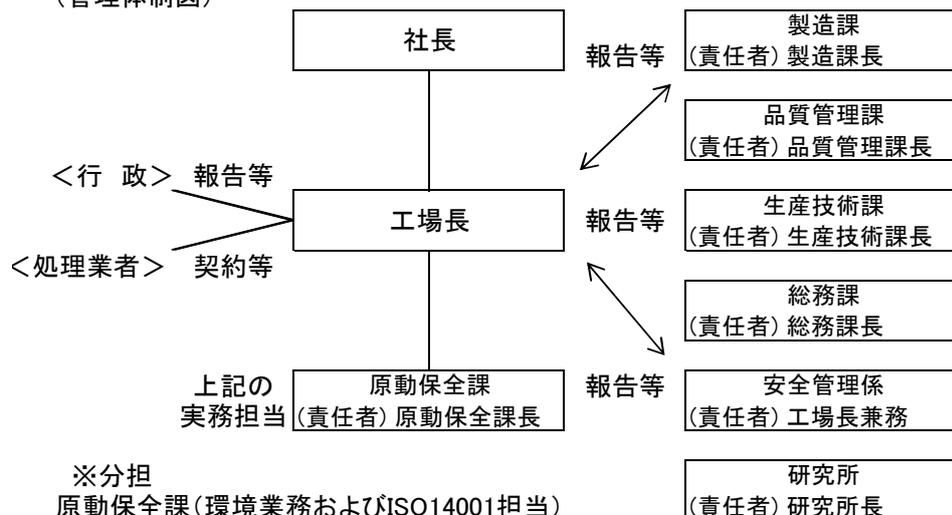
収集運搬<委託:喜楽鋳業>沈殿分離<委託:喜楽鋳業<喜楽鋳業

⑤ガラス屑等

収集運搬<委託:イボキン>圧縮、切断、粉碎<委託:イボキン<イボキン

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



※分担

原動保全課(環境業務およびISO14001担当)

- ・工場内のマテリアルフローの把握、総合的な廃棄物減量計画の立案
- ・工場内の廃棄物処理計画等の策定、部署間の調整、行政への報告
- ・処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引渡し、適正処理の確認
- ・工場内の他部署への関係法令等の教育、啓発、指導監督
- ・環境委員会の主催、ISO14001関連の対応

製造課、品質保証課、生産技術課、総務課、研究所(担当:全部署)

- ・部署内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管場所への運搬
- ・部署内スタッフへの分別方法等の徹底

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(令和元年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
排出量	553	40	0	746	13	14	1366

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
排出量	547	72	1	0	13	14	647

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(令和元年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0	0

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0	0

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度(令和元年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0	0

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0	0

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度(令和元年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項
 ○現状 前年度(令和元年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
全処理委託量	553	40	0	746	13	14	1366
優良認定処理事業者への処理委託量	553	40	0	746	13	14	1366
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃酸	ガラス屑等	木屑	合計(t)
全処理委託量	547	72	1	0	13	14	647
優良認定処理事業者への処理委託量	547	72	1	0	13	14	647
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0